

## 2022年度全国高校生フォーラム 生徒交流会(ディスカッション) 生徒用資料

(日程:12月18日(日)15:25~16:45)

### (1)ねらい

- ・国際的な課題意識をもった生徒が集まり、SDGsの17目標に関するディスカッションを通して、他校の生徒や留学生とつながり、グローバルな視点を身に着ける。
- ・地球規模の課題について、グローバルな視点を活かし、当事者として地域や社会にどう貢献するかを考え議論することを通して、今後の実践的研究へのきっかけづくりをする。
- ・課題について、英語で説明し議論することをきっかけとして、国際社会において自己の意見を積極的に発信し議論する力を養う。

### (2)ディスカッションテーマ

SDGsの17目標から下記2テーマを設定し、各テーマにつき5分科会に分ける。

#### 【テーマA: 格差のない社会をめざして(⑩人や国の不平等をなくそう)】 (分科会 A-1~A-5)

(その他関連するSDGsの目標)

- ①貧困をなくそう、②飢餓をゼロに、③すべての人に健康と福祉を、④質の高い教育をみんなに、⑤ジェンダー平等を実現しよう、⑥安全な水とトイレを世界中に、⑧働きがいも経済成長も

#### 【テーマB: 持続可能な開発と自然環境(⑪住み続けられるまちづくりを)】 (分科会 B-1~B-5)

(その他関連するSDGsの目標)

- ⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑫つくる責任つかう責任、⑬気候変動に具体的な対策を、⑭海の豊かさを、⑮陸の豊かさも守ろう

### (3)当日までに準備しておくこと

- ・自身の学校が参加する分科会のテーマについて、参加校の主な関連テーマを参照しながら、興味・関心のあるキーワードの発表や問題提起を英語を使ってできるように、資料調査等を行う。分科会で、積極的に発言できるよう準備する。  
(キーワード例:Global Warming, Sea Level Rise) (問題提起例:I think global warming is the problem because some countries will disappear due to rising sea levels.)
- ・同じ分科会に参加する他校のプレゼンテーションをあらかじめ視聴しておく。

### (4)内容

ラウンド1~3において発言および討論を行う。

#### 【ラウンド1】問題提起(約20分)

- ① ディスカッションテーマについてのキーワード(英単語)の発表や問題提起を行う。アドバイザー教員を中心に、ラウンド2に向けて、議論すべき課題を定め共有する。
- ② ラウンド2では、ブレイクアウトルームに分かれるため、生徒の中から司会生徒(学校)と報告担当生徒(学校)を選出する。

#### 【ラウンド2】ブレイクアウトルームでの意見交換(約30分)

ブレイクアウトルームに分かれて、ラウンド1で共有した内容から、「なぜ、グローバルな課題が生じるのか(原因の推測・分析)」、「どうすれば問題は解消されるのか(解決に向けた方法)」、「いま、高校生としてできることは何か?」を自由に討議する。

#### 【ラウンド3】課題解決へ向かって(約25分)(自由討議→提言)

ラウンド2で議論した内容を報告する。それに対するアドバイザー教員のコメントを踏まえつつ、「私たちに何ができるか?」「将来、どのように地域や世界に貢献したいか?」を意見交換し、分

科会として提言できる内容があれば、それをまとめる。

### (5) ディスカッションの進め方

所要時間: 80分(15:25~16:45)

参加校数: 各分科会 12校程度(アジア高校生架け橋プロジェクトの留学生含む)

タイムスケジュール:

時刻	進め方		
15:20	アドバイザーとTAの入室 参加校をPC上での確認(出欠点呼なし)		
15:25	分科会内容の説明(約5分)		
	司会進行	TA	
	内容説明	アドバイザー TA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイザー自己紹介(所属と研究分野を含めて)</li> <li>・TA自己紹介(所属と興味・関心のある分野を含めて)</li> <li>・生徒交流会の「(1)ねらい」の確認</li> <li>・分科会の進め方(3つのラウンド構成)</li> </ul>
15:30	ラウンド1: 問題提起(約20分)		
	司会進行	TA	各学校の指名→生徒の発表→(繰り返す)
	生徒発表	参加生徒	ディスカッションテーマのキーワード(英単語)の発表や問題提起を行う。問題提起は、文章で述べる。
	アドバイス	アドバイザー	各校からの発言の補足・ラウンド2へ向けた助言
15:50	ラウンド2: ブレイクアウトルームでの意見交換(約30分)		
	司会進行	参加生徒	司会生徒・報告担当生徒の立候補
	意見交換	参加生徒	課題について、原因の推測・分析、解決や軽減の方法、高校生としてできること等を自由に討議する。
	アドバイス	アドバイザーorTA	各BRに分かれ、司会進行の補助、記録、意見交換への助言
16:20	ラウンド3: 課題解決へ向かって(約25分)		
	司会進行	TA	
	生徒発表	参加生徒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各班の報告(1班・2班それぞれの報告担当生徒)</li> <li>・さらなる意見交換</li> </ul>
	まとめ	アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生からの提言のまとめ</li> <li>アドバイザーからのコメント・提言とりまとめ</li> <li>参加生徒の感想(時間があれば)</li> </ul>
16:45	終了→全体会へ		

### (6) ディスカッションのポイント

- ・活発な議論となるよう、積極的に発言する。同時に、全員が議論に参加できるように、英語で分かりやすくゆっくりと発言するように心がける。
- ・ラウンド2では、ブレイクアウトルームで議論する。司会進行は参加生徒自身で行い、アドバイザー(もしくはTA)は各班に同席し、適宜、議論を補助するとともに、記録を行う。

### (7) その他

- ・アジア高校生架け橋プロジェクトの留学生も、他の生徒と同じように、自身の経験や関心にもとづきながら、積極的に発言する。
- ・視聴者枠として、学校外の関係者が視聴している。